



流鏑馬



10月17日、四十九所神社にて「高山流鏑馬」が行われました。日本における流鏑馬の起源は、永年元年（1096年）に始まるとされ、「高山流鏑馬」も900年以上の歴史を誇る伝統行事です。

元は国家安泰、五穀豊穡、悪疫退散を祈願する年占いで、現代でもこの願いが込められています。

狩衣装束にあやい笠を身にまとい、弓受けの儀により神の使いとなった射手は、神馬とともに約330mの馬場を駆け抜けながら、合計9本の矢を射ます。

全国的に成人の射手が多い流鏑馬ですが、高山流鏑馬は、毎年その年の中学2年生が射手を務めます。

今年の射手は、国見中学校2年生の松元結希君。後射手は昨年射手の高山中学校3年生の橋口晋賀君が務めました。

二人の若き射手が、たくさんの人々の期待と願いを一身に受け、馬場を駆け抜けました。



CONTENTS : 目次

広報きもつき vol.198 December 2021

- 02 目次
- 03 高山流鏑馬
- 06 保育施設等入所申込手続きの受付について ほか
- 07 コロナワクチン情報 ほか
- 08 まちの話題
- 09 町からのお知らせ ほか
- 10 元気にしちよっど〜！便り ほか
- 11 肝付町職員募集 ほか
- 12 学校ニュース
- 14 楠隼中学校・高校たより
- 15 熱中小学校 ほか
- 16 京和のお国自慢 ほか

- 17 本の森
- 18 栄養士さんが教えるレシピ
- 19 セーフティライフくみにみ岳
- 20 子育て支援施設 ほか
- 21 一般広告
- 22 人のうごき ほか
- 23 暮らしのカレンダー
- 24 内之浦・岸良打ち上げ花火